

## 子どもの性教育について

□調査期間 平成28年8月17日～平成28年8月25日

□調査の趣旨

近年、性に関する価値観の多様化や性に関する情報の氾濫などにより、性行動の若年化やそれに伴う性感染症の罹患、望まない妊娠などが問題となっています。学校などで性に関する指導が取り組まれています。個人の発達や理解状況に対応した指導は難しいため、学校に加えて家庭での性教育を行うことが効果的であると考えています。学校・行政・家庭が連携した性教育体制構築のためにご意見を参考にさせていただきたいと思っております。

□対象者数 478 人(平成28年8月17日現在)

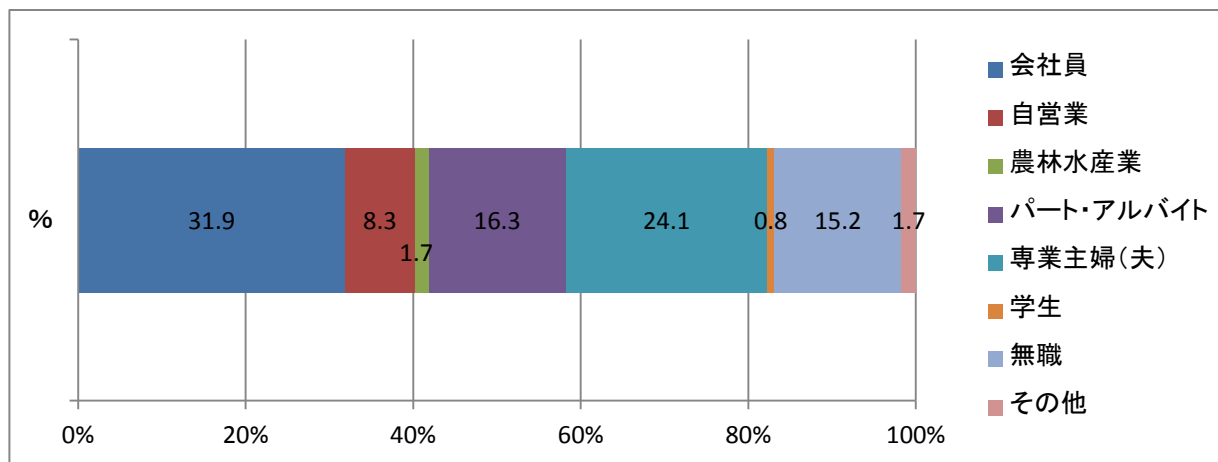
□回答者数 361 人

□回答率 75.5 %

(図および表中の比率は、少数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。)

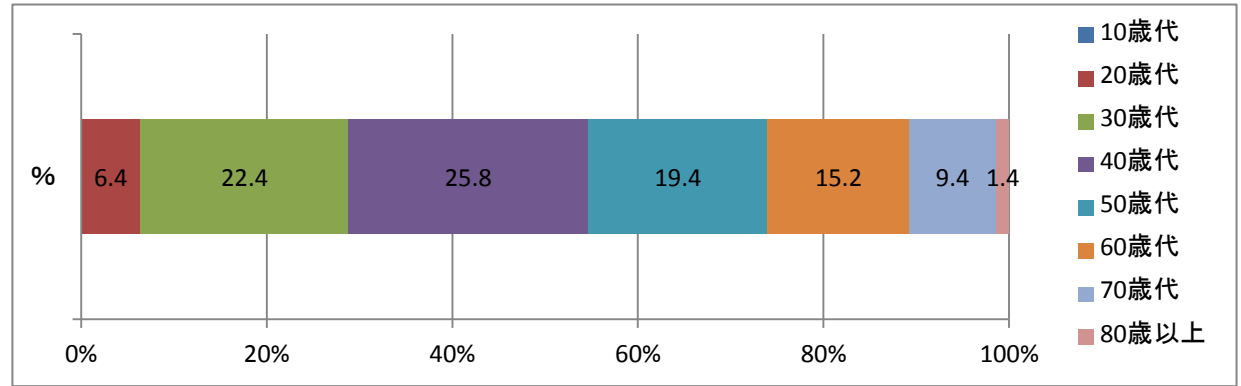
### 【ご職業】

内訳	人数	%
会社員	115	31.9
自営業	30	8.3
農林水産業	6	1.7
パート・アルバイト	59	16.3
専業主婦(夫)	87	24.1
学生	3	0.8
無職	55	15.2
その他	6	1.7
合計	361	100.0



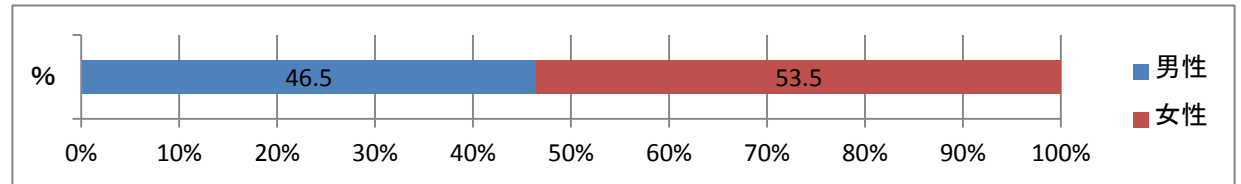
【年齢】

内訳	人数	%
10歳代	0	0
20歳代	23	6.4
30歳代	81	22.4
40歳代	93	25.8
50歳代	70	19.4
60歳代	55	15.2
70歳代	34	9.4
80歳以上	5	1.4
合計	361	100.0



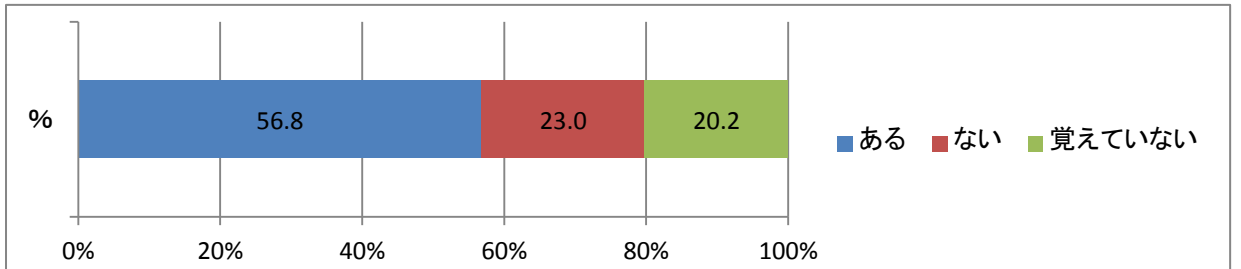
【性別】

内訳	人数	%
男性	168	46.5
女性	193	53.5
合計	361	100.0



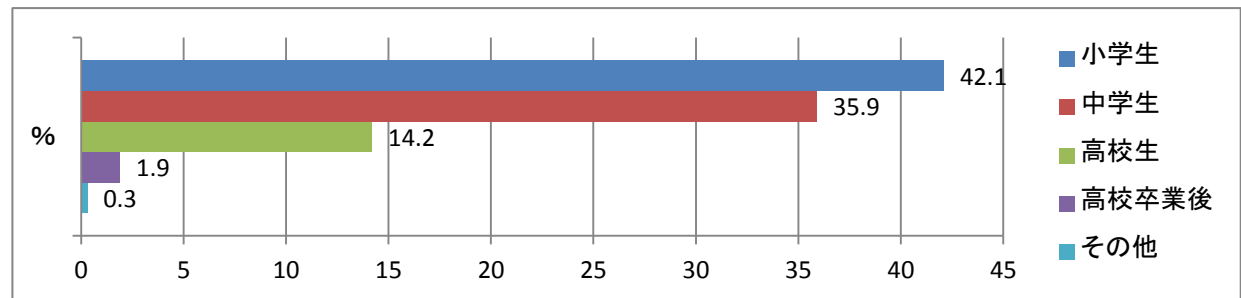
【問1】 あなたは学校や保健所等で性教育(性に関する授業)を受けたことがありますか。

内訳	人数	%
ある	205	56.8
ない	83	23.0
覚えていない	73	20.2
合計	361	100.0



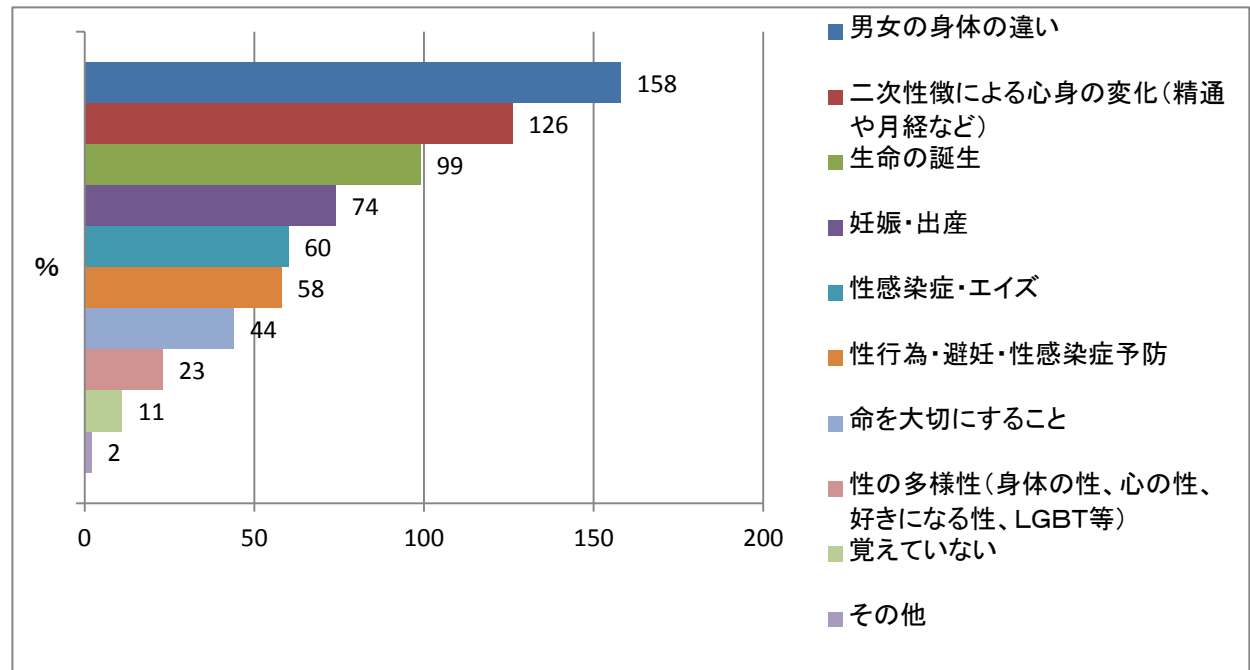
【問1-1】 問1で「ある」と回答された方にお聞きます。どの時期に受けたことがありますか？すべてお選びください。該当者205名

内訳	人数	%
小学生	151	42.1
中学生	129	35.9
高校生	51	14.2
高校卒業後	7	1.9
その他	1	0.3
合計	339	78.0



【問1-3】 問1で「ある」と回答された方にお聞きます。その時の内容で印象に残っていることをすべてお選びください。該当者205名  
 ※LGBTとは、レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーの頭文字に由来し、性的少数者を意味します。

内訳	人数	%
男女の身体の違い	158	77.1
二次性徴による心身の変化(精通や月経など)	126	61.5
生命の誕生	99	48.3
妊娠・出産	74	36.1
性感染症・エイズ	60	29.3
性行為・避妊・性感染症予防	58	28.3
命を大切にすること	44	21.5
性の多様性(身体の性、心の性、好きになる性、LGBT等)	23	11.2
覚えていない	11	5.4
その他	2	1.0

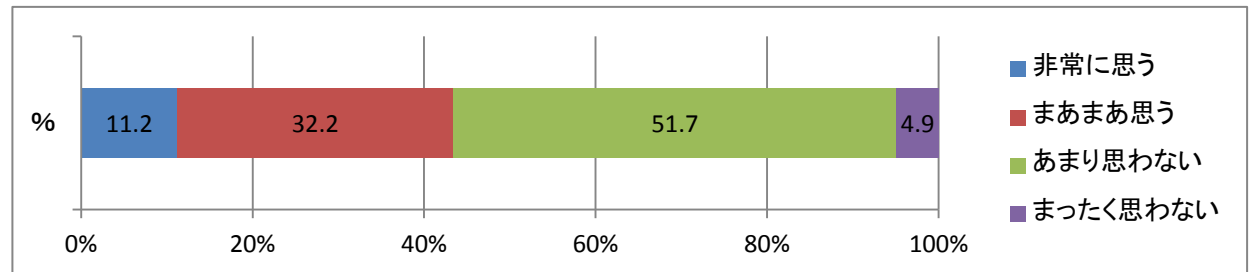


【問1-4】 「その他」と回答された方は詳しくご記入ください。

- ・コンドームの話くらい。
- ・女子のみ集めて 生理(月経)手当の仕方だったかな？

【問1-5】 性教育で学んだことは今の生活に役立っていると思いますか。 該当者205名

内訳	人数	%
非常に思う	23	11.2
まあまあ思う	66	32.2
あまり思わない	106	51.7
まったく思わない	10	4.9
合計	205	100.0



【問1-6】 問1-5で「非常に思う」「まあまあ思う」と回答された方にお聞きします。どのような内容が役立っていますか。 該当者89名

高校の授業で墮胎手術の映像を見たことが特に忘れられません。

子供に正しく伝えられる。

おろす時のおなかの中の シーンをみたらそんなことはできないなと思った。

性感染症など

男女の相互認識

子どもに教育する時に出産や命の大切さを教えるのに役立っていると思う。

ああこういうことなんか～と後からわかるぐらいで、勉強になった！とは思わない...

男女の体の違いや二次性徴について学んだことは、性について考える上での基礎知識となっている。

学んだことの多く

女性器の感染症予防のため、排便・排尿後トイレットペーパーで拭くときは、前から後ろに向かって拭くこと。男性の精通については小学校当時全く知らなかった。エイズも知らなかった  
ので知る機会にはなかったが、他の性感染症についてはあまり覚えていない。コンドームは避妊の為だけのものではないことを、きちんと教えて欲しい。不妊についても男女とも教えてお  
いて欲しい。子宮頸がんについて、大人になって初めて名前を聞いた。性交渉の経験があれば子宮頸がんになる可能性があることなども全く知らなかったので、早い段階で教えて欲しい。

出産の動画に、衝撃をうけた。

避妊具の使い方やHIVに関する正しい知識

自由な恋愛＝男性にのみ都合がいい。女性には注意が必要。という内容

避妊について 避妊方法について

安易に妊娠してはいけないこと、命の尊さや育てる大変さなど。

女子は毎月生理があるということ。

命の重さ

命の大切さと自分自身を大切にすること。

女性の生理的な事で仕事などが苦痛になることがあるの言わずとも察することができる事

中学生の頃に墮胎される時の胎児の映像をみました。しかしその胎児の母親は中学生でした。中絶についてすごくみんなで考えました。

子どもにどうやって教えたらよいか考えることが出来た。

問1-3で、を入れた項目

未成熟な年齢での妊娠は心身ともかなりのリスクがあると言う事、身体の大切さを考える事ができました。

体の違い

男女の体の作りや機能の違い

昔は家庭ではタブーのように話をされなかったので、学校で聞く話が全てだった。

男女の違いがあることを知るきっかけになったから。

男女の成り立ちや違い

女子と一緒に学ぶ時間があることで、共通認識でき、話題に出ることもあるので。共感を呼びやすい環境につながっているかと思います。

第二次成長期への理解

現代はもっとオープンに進められていると思いますが、40年以上前でも基本的な教育を受けたことが役立っていると思います。なかなか家族や友人にもオープンに聞けなかった閉鎖的な  
時代であったから、基本的に良かったと思っています。

妊娠の仕組み

成長過程で知っておくべき知識があるので、段階をふんで教育していくべき。性教育は親からは教育しにくいと思う。

性の知識

おぼろげにも避妊の大切さをずっと覚えていた。

体のつくり

生命の尊さ、快楽だけのセックスで妊娠や病気ケガで命をムダにして欲しくない。

昔は学校では第2成長期の授業で十分でしたし周りの大人からは色々と教えてもらった環境があった。

エイズのことや、避妊のことを知っておくだけで、大人になってから気にすることができた。知識があるため、臆することなく婦人科にも行けた。

#### 命の尊厳

生命の誕生・二次性徴・妊娠出産・性感染症予防

#### 生命の誕生

人間はどこから来て、どうして今ここに存在するのか疑問だった時期でした。

自分や他人の命や体を大切に守る方法

わかっているようで間違っていることもあるし、人や親には聞きにくいので学校できちんと教えてもらってよかった。

#### 妊娠について

男女の体の違いについて知ったのは、この授業が初めてだったので。

#### 意識した事

命の大切さを学べた。

ネット等がなかった時代だったので、友人や親以外の性の情報を知る経路として

#### 避妊、エイズについて

高校でしっかりオギノ式を習ったことは、結婚した時に役に立ちました。成人式に曖昧な知識の人が多くと実感し、自分の高校のすごさを実感したのを今でも覚えています。

#### むやみに性行為を行わない事

初潮を迎える頃に学校でそういう授業を受けたので役に立ったとは思いますが。

結婚するまで異性との性行為はしなかった。

相手を思いやる気持ちの基礎となっていると思う。

小学生で学んだときに、生命の誕生を感動的に思えたので、出産は感動的です。

2次成長について。男女の体の違い。この2つは今でも自分の知識のもとになっている。

基本的な知識を得ることができた。

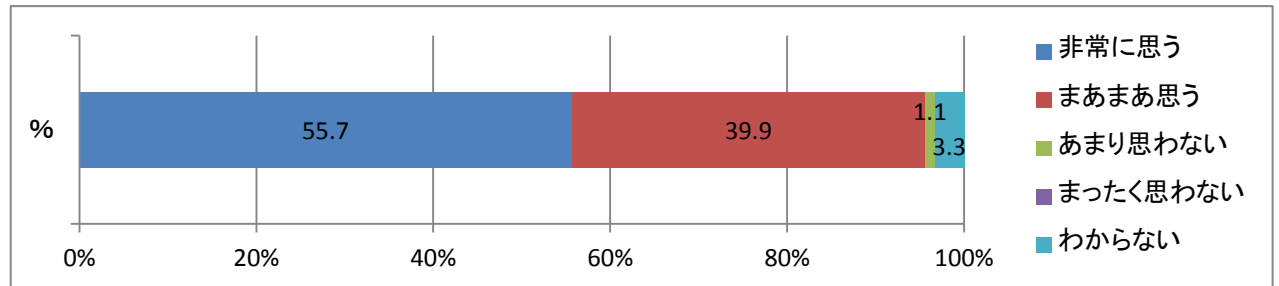
中学生の時に保健体育で性行為に関することをはっきり色々教えて下さった先生がいて 当時は恥ずかしかったが、正しい知識で良かったと思う。

#### 妊娠、出産について

家では学ばないことだし、上の子が下の子の出産を前に質問をしてきたけれど、ある程度易しく教えることができたから。

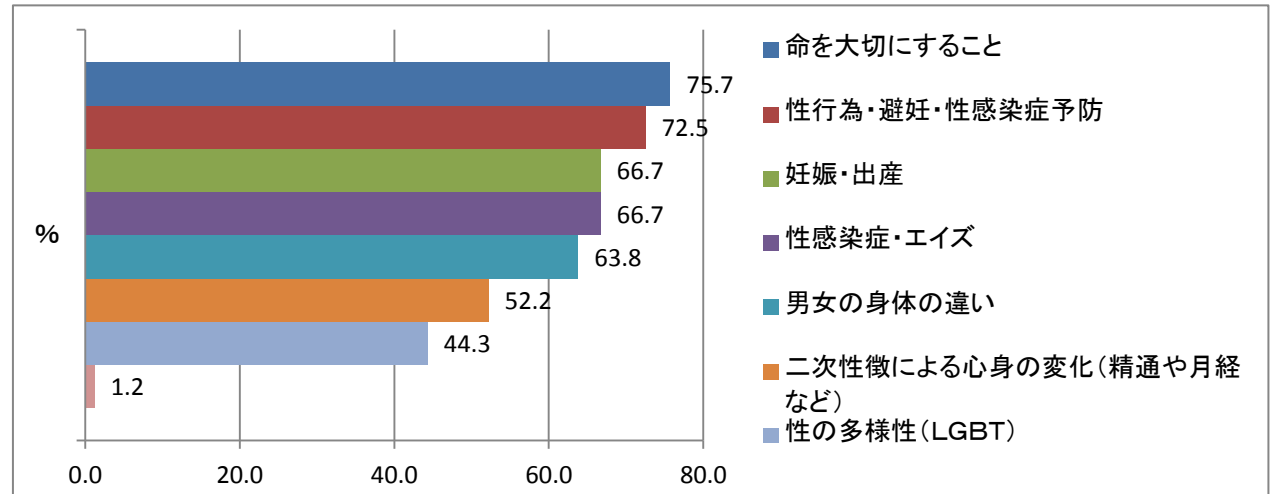
【問2】 現在、学校では各学年の現状に応じ、保健体育や道徳などの授業を通して、性、命を大切にするための様々な取り組みがなされています。性教育(性に関する指導)は子どもたちの教育において重要と思えますか。

内訳	人数	%
非常に思う	201	55.7
まあまあ思う	144	39.9
あまり思わない	4	1.1
まったく思わない	0	0.0
わからない	12	3.3
合計	361	100.0



【問2-1】 問2で「非常に思う」「まあまあ思う」と回答された方にお聞きします。どのような内容が特に重要であると思いますか。あてはまるものを全てお選びください。該当者345名  
 ※LGBTとは、レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーの頭文字に由来し、性的少数者を意味します。

内訳	人数	%
命を大切にすること	261	75.7
性行為・避妊・性感染症予防	250	72.5
妊娠・出産	230	66.7
性感染症・エイズ	230	66.7
男女の身体の違い	220	63.8
二次性徴による心身の変化(精通や月経など)	180	52.2
性の多様性(LGBT)	153	44.3
その他	4	1.2
合計	1,528	443.1



【問2-2】 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。

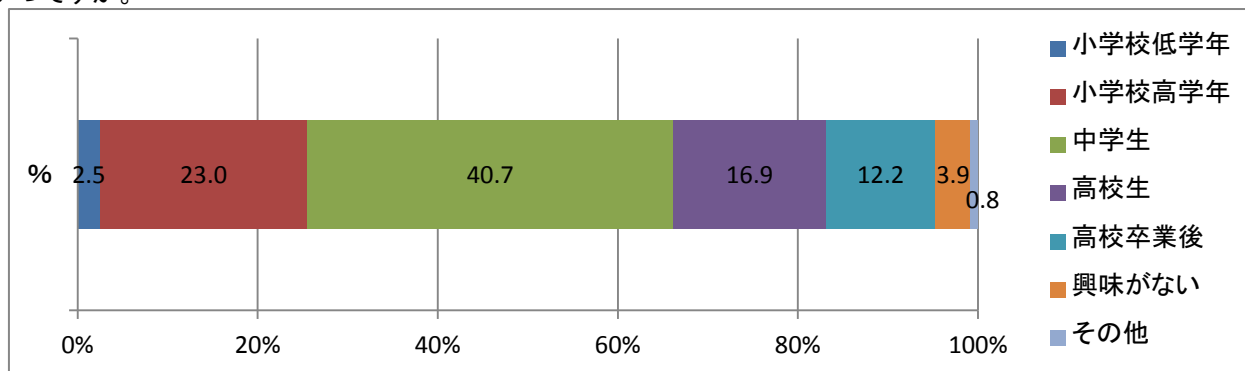
ネットなどによる不純異性交遊(売春)  
 性行為など二次性徴以外にも高齢出産のリスクや更年期障害については教えてもらった覚えがないので、そのへんも出来れば触れるといいのではないかと思います。  
 未成熟な男女のそれぞれの色々な心身の動きを男女お互いを知ること。  
 レイプや性犯罪について。

【問2-3】 問2で「あまり思わない」「4 まったく思わない」「5 わからない」と回答された方はその理由についてお聞かせください。

学校での教育よりも、第一義には家庭における親の役目を果たすべきであり、併せて世間に氾濫する性の乱れをこれ以上放置しないことに、行政は全力投球すべきである。学校任せにすべきではない。  
 家庭環境(親の考え方や行動)や同級生からの話の方が学校での教育よりも影響が大きいと思う。最近はずぐに学校や社会のせいにする風潮があるが、子供の教育の基本は家庭だと思う。

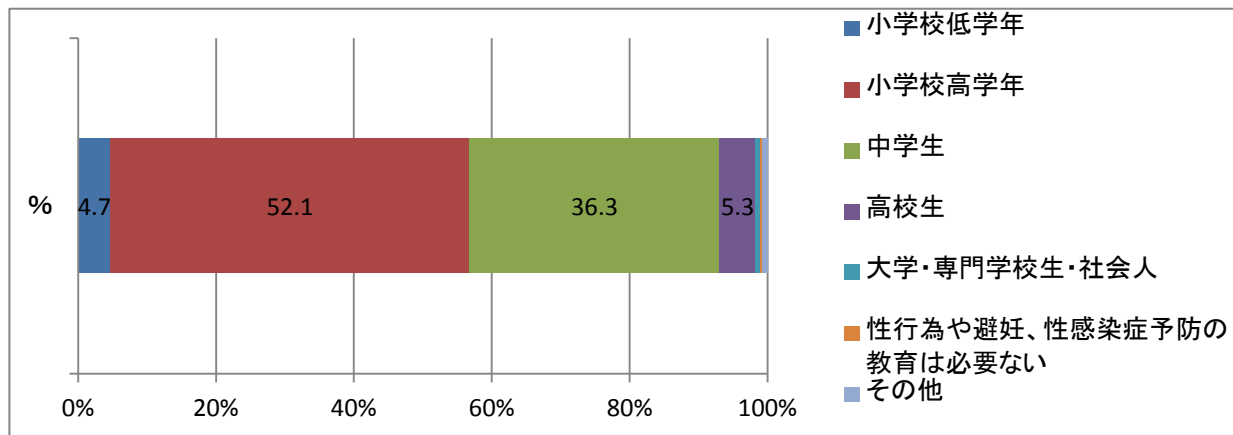
【問3】 性行為・避妊・性感染症予防について興味を持ち始めた時期はいつですか。

内訳	人数	%
小学校低学年	9	2.5
小学校高学年	83	23.0
中学生	147	40.7
高校生	61	16.9
高校卒業後	44	12.2
興味がない	14	3.9
その他	3	0.8
合計	361	100.0



【問4】 性行為・避妊・性感染症予防についての教育はいつごろ行うのが適切であると考えますか。

内訳	人数	%
小学校低学年	17	4.7
小学校高学年	188	52.1
中学生	131	36.3
高校生	19	5.3
大学・専門学校生・社会人	2	0.6
性行為や避妊、性感染症予防の教育は必要ない	1	0.3
その他	3	0.8
合計	361	100.1

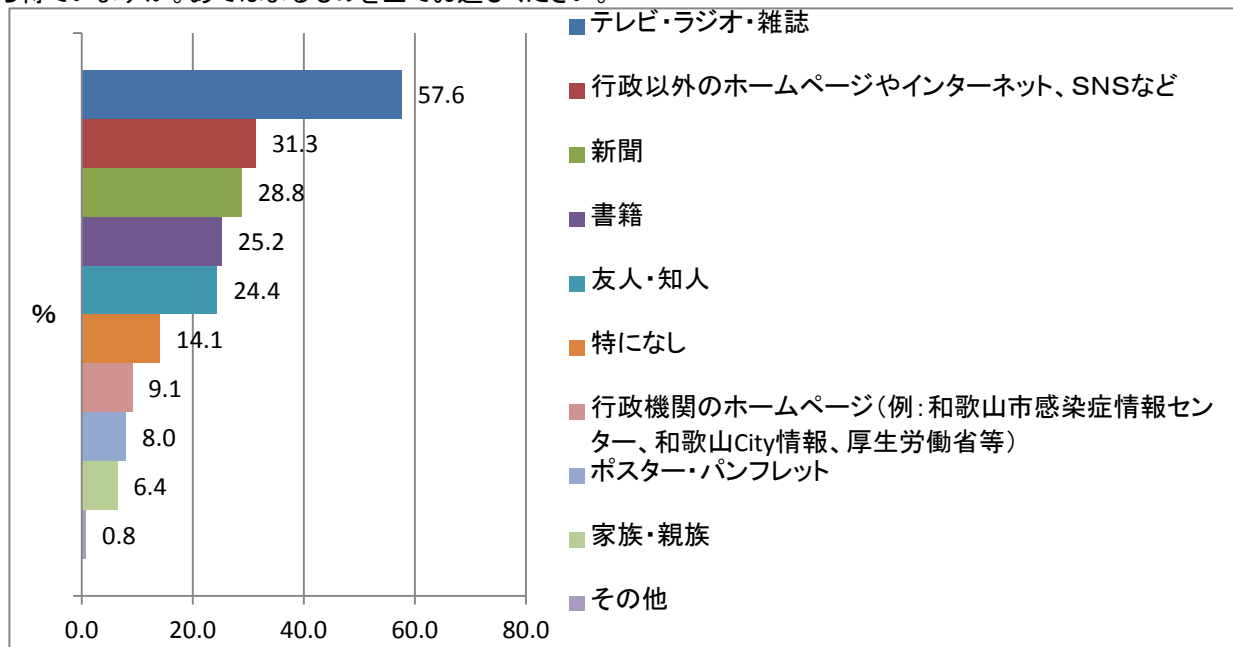


【問4-1】「その他」と回答された方は詳しくご記入ください。

わからない。  
 毎年繰り返し年齢に応じて教育してほしい。  
 子供の成長によるので、一概には言えない。私の時代でも、性にオープンな環境で育った子は、小学生の頃から興味を持ち色々知っていた。強いて言えば、体の変化が起こる頃に教育すればよいのではないかと思う。

【問5】あなたは性についての情報(性感染症・エイズ等を含む)をどこから得ていますか。あてはまるものを全てお選びください。

内訳	人数	%
テレビ・ラジオ・雑誌	208	57.6
行政以外のホームページやインターネット、SNSなど	113	31.3
新聞	104	28.8
書籍	91	25.2
友人・知人	88	24.4
特になし	51	14.1
ポスター・パンフレット	29	8.0
行政機関のホームページ(例:和歌山市感染症情報センター、和歌山City情報、厚生労働省等)	33	9.1
家族・親族	23	6.4
その他	3	0.8



【問5-1】「その他」と回答された方は詳しくご記入ください。

医療機関  
 医療従事者の為、各機関より情報あり。  
 職場で、目にする機会が多い。

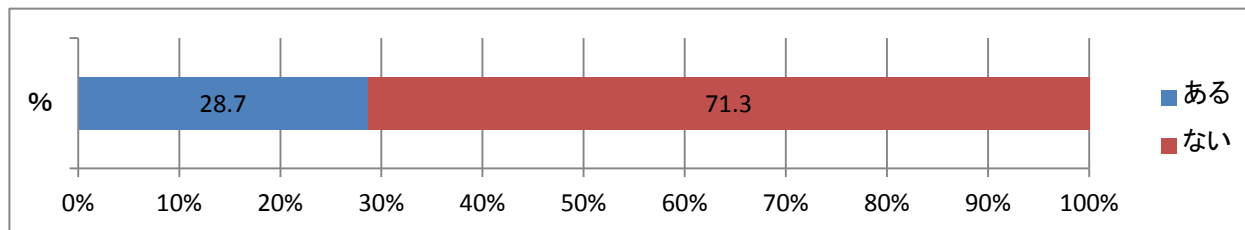


【問6】 あなたは小学生以上のお子さんがいらっしゃるでしょうか。

内訳	人数	%
いる	150	41.6
いない	211	58.4
合計	361	100.0

【問7】 問6で「いる」と回答された方にお聞きます。お子さんと「性」について話をする機会はありますか。 該当者150名

内訳	人数	%
ある	43	28.7
ない	107	71.3
合計	150	100.0



【問7-1】 問7で「ある」と回答された方にお聞きます。どのような機会にどのような内容のお話をされましたか。 該当者43名

生理のときに生理の話  
 興味を持ちはじめた頃に興味をもったり、恋愛はいいことだけれども、妊娠させることは責任を持てるようになってからのことであること。無責任な妊娠出産、育児は絶対してはいけないことを主に話しました。

家族で集まった時やテレビ、新聞に性に関する話題に触れた時  
 低学年ですから、男女の違い程度  
 妊娠、出産の際に生理や命の大切さを話した。

入浴中や、入浴後などに、男女の体の違いについて。  
 出来ちゃった結婚等  
 声変わりについてテレビで話していたときに、息子に変声期について話をふったことがある。

学校での性教育があった時、生命の大切さ  
 うちの中1の男の子なのですが、まだまだ興味がないようです。男女の成長の違いや、成長するにつれて女の子に興味を持ってもおかしくない、ただし安易な性行為は絶対いけないということは話しました。

妊娠、出産、性の多様性  
 聞かれたことだけ答えた。

娘が生理になったとき。  
 生理中でもお風呂と一緒に入り、女の人の身体について話した。

彼氏・彼女が出来たと言い出したとき  
 犯罪事件や自殺事件などのニュースに接した場合、それらの対応について話し合った。

責任を持てるまでは避妊する事  
 子供たちが小さい頃から、私が生理中の時も一緒にお風呂に入っていたので。何故生理になるのか。生理とはどういうものか等。

はじめての話は子どもが小学3年生で生理になった時。まだ性教育が学校で行われていなかったため、なぜ生理がくるのか、男女の違いの話をした。小5の息子にも話した。

月経開始時  
 異性との付き合いが始まった頃

気になる事がある時、妊娠について。  
 ニュースを題材にして話す。

命の大切さ

母が月経の時や、小学校の加太合宿の前、生理について。下着売り場などで、第二次性徴について。小学校の宿題で産まれた時のことを聞く、というのがあるのでその際出産について。処女ってなに？と聞かれたので。

行動と責任について。

一緒にニュースを見ているときなど、ニュースの内容に沿った知識の交換をしています。

初潮が来た時に生命の尊さについて話しあった。

男女に興味を持ち出してきた頃から、二人の時に、男女の違い(生理など)を少しずつ。

出産したときのようすを聞かれたときに話したり、絵本をおいています。

彼氏、彼女ができた時に。相手を大切にすること、避妊について。

自分の生理のときに生理の解説をしたり、異性の兄妹なので、お互いの違いが気になったときに説明しています。

娘を育てましたが、異性を異性とも思っていないくて(中学生の時は吹奏楽部で、塾から拒否される位忙しく、高校生の頃は、週5日高校の授業が終わってから美術の塾に通っていたので、異性を余り意識していませんでした。でも高校生の時に一般的な妊娠や性病などの話は、時折するくらいでした。

避妊について。

生理の時に何で血が出るのか聞かれた時に女性の体の仕組みを話した。

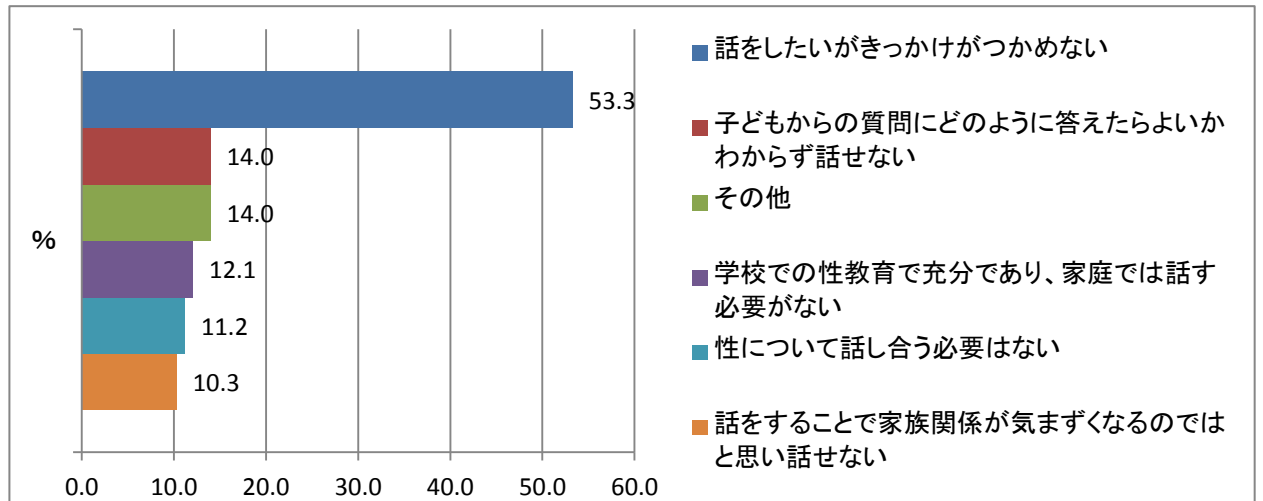
マスコミで性に関する情報が流れたとき。例えばLGBTであれば、「色んな人がいるのは当たり前だから、それを理由に差別をしてはいけない。自分自身でも悩み事があるれば親でなくても良いから一人で悩まずに相談するように」と。

兄弟ができるときに。

小4と小2の息子に1才の妹を妊娠中、妊娠出産について。テレビのおネエタレントを見ながら心と体の性の違いについて。

【問7-2】 問7で「ない」と回答された方にお聞きします。その理由をすべてお選びください。該当者107名

内訳	人数	%
話をしたいがきっかけがつかめない	57	53.3
子どもからの質問にどのように答えたらよいかわからず話せない	15	14.0
その他	15	14.0
学校での性教育で充分であり、家庭では話す必要がない	13	12.1
性について話し合う必要はない	12	11.2
話をすることで家族関係が気まずくなるのではと思い話せない	11	10.3

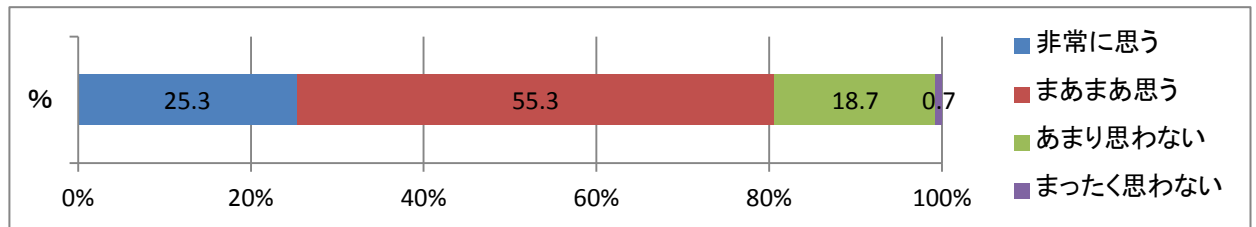


【問7-3】「その他」と回答された方は詳しくご記入ください。

まだ必要ないと思っているから。  
 家庭を持っている歳だから・・・  
 正確な知識の不足により、何をどう話したら良いか、確たる自身が無い。  
 子供が興味をもち、子供から問いかげがあるまではあえてこちらからはしない。  
 低学年の為、少しずつ話す機会を作っていこうと思っています。  
 特に機会が無かった。  
 一年生なので具体的な話は必要ないと考えます。  
 まだその時期ではないと考えているため。  
 相談があればする程度です。  
 子供は成人して人の親になっています。  
 3年生であり、まだ特に本人もよくわかっていないようだから。  
 子どもの様子を見て時期が来れば話をしようと思うが今はまだ必要なさそうなので。  
 小学一年生でまだ関心がなさそうだから。  
 特にまだ必要だとは思わないから。

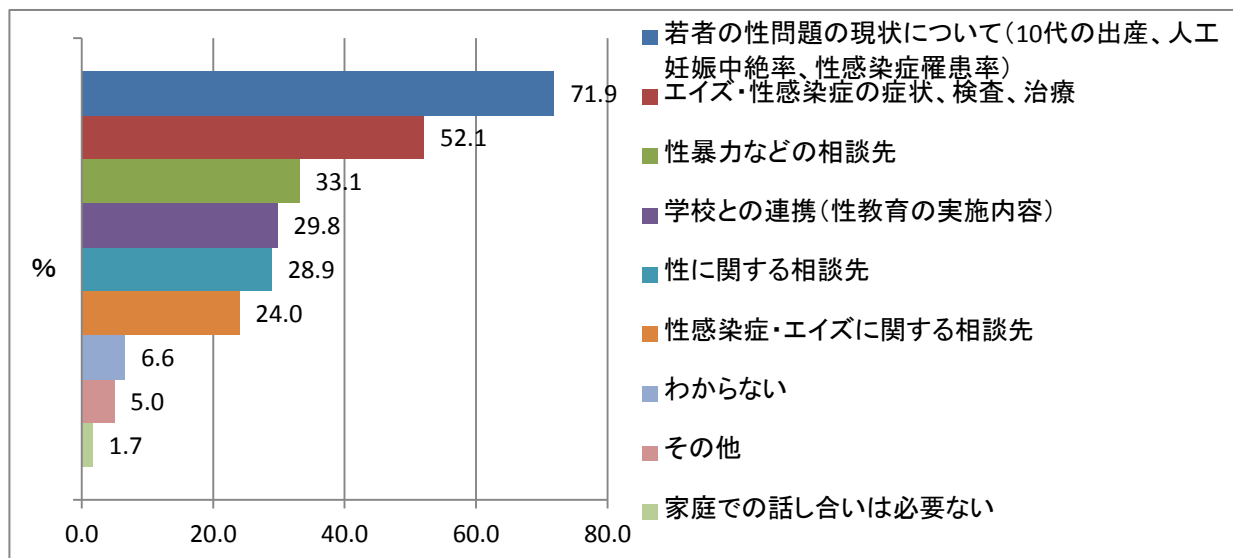
【問8】 問6で「いる」と回答された方にお聞きます。あなたは家庭において「性」について話し合うことは重要だと思いますか。該当者150名

内訳	人数	%
非常に思う	38	25.3
まあまあ思う	83	55.3
あまり思わない	28	18.7
まったく思わない	1	0.7
合計	150	100.0



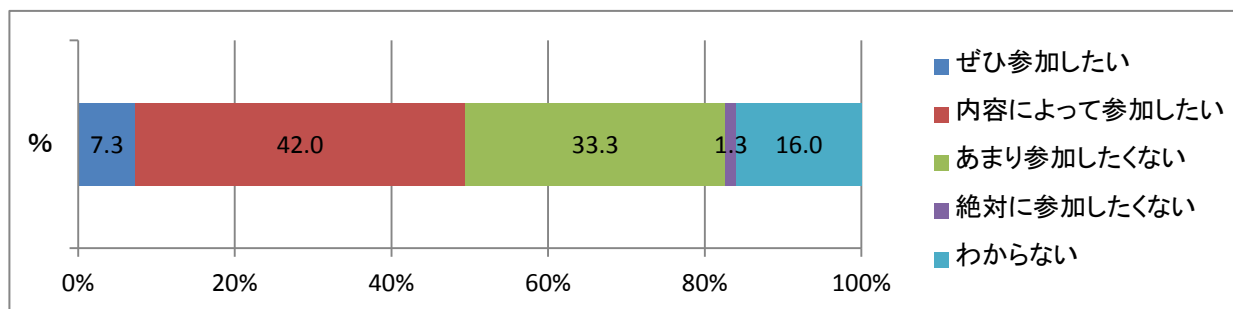
【問8-1】 問8で「非常に思う」「まあまあ思う」と回答されたかたにお聞きします。家庭の中で子どもと「性」について話し合う場合、必要であると思う情報についてすべてお選びください。該当者121名

内訳	人数	%
若者の性問題の現状について(10代の出産、人工妊娠中絶率、性感染症罹患率)	87	71.9
エイズ・性感染症の症状、検査、治療	63	52.1
性暴力などの相談先	40	33.1
学校との連携(性教育の実施内容)	36	29.8
性に関する相談先	35	28.9
性感染症・エイズに関する相談先	29	24.0
わからない	8	6.6
その他	6	5.0
家庭での話し合いは必要ない	2	1.7



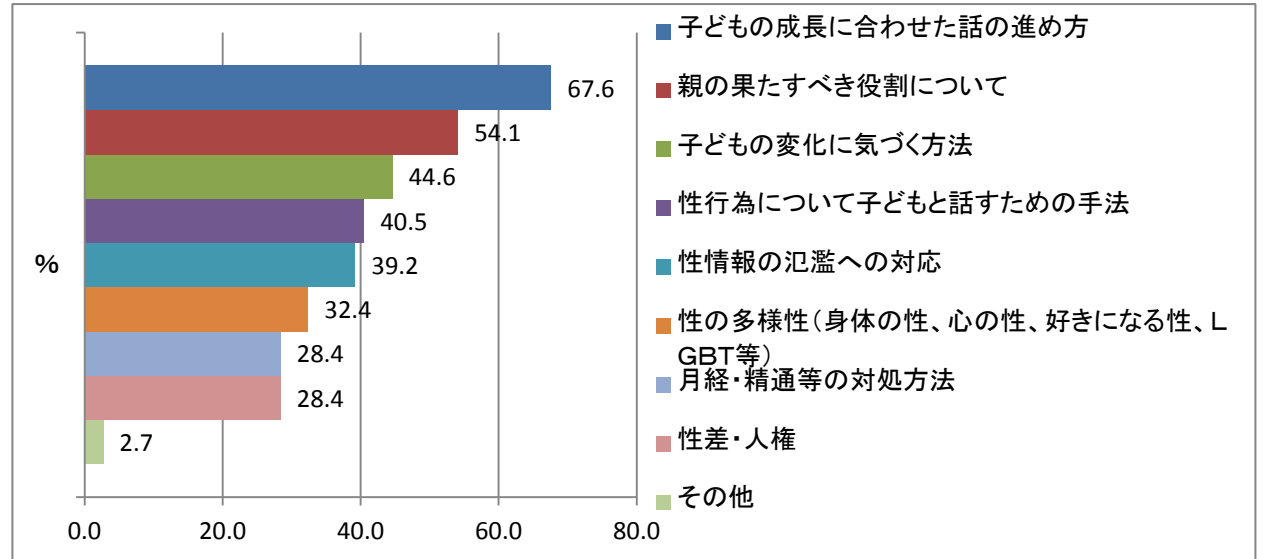
【問9】 問6で「いる」と回答された方にお聞きします。保護者を対象にした「子どもへの性教育」に関する講座などがあれば参加したいと思いますか。該当者150名

内訳	人数	%
ぜひ参加したい	11	7.3
内容によって参加したい	63	42.0
あまり参加したくない	50	33.3
絶対に参加したくない	2	1.3
わからない	24	16.0
合計	150	99.9



【問9-1】 問9で「ぜひ参加したい」「内容によって参加したい」と回答された方にお聞きます。どのような内容を希望しますか。あてはまるものを全てお選びください。該当者74名  
 ※LGBTとは、レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーの頭文字に由来し、性的少数者を意味します。

内訳	人数	%
子どもの成長に合わせた話の進め方	50	67.6
親の果たすべき役割について	40	54.1
子どもの変化に気づく方法	33	44.6
性行為について子どもと話すための手法	30	40.5
性情報の氾濫への対応	29	39.2
性の多様性(身体の性、心の性、好きになる性、LGBT等)	24	32.4
月経・精通等の対処方法	21	28.4
性差・人権	21	28.4
その他	2	2.7



【問9-2】 「その他」と回答された方は詳しくご記入ください。

国際社会の交流が、日常的になっている現在において民族・文化・宗教などの相違による性・人権などの相違を知っておくべきだと思う。だが、日本の社会は、一般的にそれらに対応出来ていないように思われる。  
 学校で学年ごとにどのような性教育がなされているのか、親にはわからないので、教えてほしい。

【問10】 ご自身の子どもの頃の経験や子育ての中で、性教育について思うことや家庭で実践したいこと、不安に思うこと、知りたいことなど何でもご記入ください。

隠すだけではだめだと思う。うちは女の子なので、望まない妊娠をしない、性犯罪にあわないよう、正しい知識をうちの子に合った時期に教えたいと思う。

安易な性行為によって授かった子供を墮胎することがどれ程女性にも危険なことをビデオ教育で学びましたが、その授業は女子だけが受けることになっていたの、必ず男子学生にも見せなければならぬと思います。また、性感染症により命が危ぶまれることなどは映画やテレビのメディア情報で知識を得ることが多かったの、もっと学校教育のなかで教えることが必要だと感じています。

性行為など現在社会ではインターネットなどが普及してるので 自然と身につくのでは。

出版の自由やネット環境の充実によってバーチャルな性体験が出来てしまい現実の性交とのギャップが大きく相手を気付けたり自信を無くしたりしてしまう。これらが晩婚化、少子化につながっていると考えます。特に中学生に対しては大人が実際の性体験について語る場を設けてはどうかと考える。AV産業、性風俗等で体験した辛い思いや辛い体験を聞かせバーチャルの裏側にある真実にも目を向けさせてほしい。

家庭における親の責務を、学校や行政に丸投げする今の現状を、なんとか本来の姿に是正すべきである。

性教育については小学校 学童時期から定期的に教えていくべき。

これはきちんと話すことやと思います。親も先生に任せっきりじゃなくで、良し悪しは子供に任せて、こうこうこうなったら、こうなるよ。こうなったらお父さんは悲しいんだ(中絶などの話の場合)。どう思う?とか 先生も思春期の子供は集団で授業をやると異性を意識してまともに聞こうとしなかったと思う。僕らの授業の時も。やっぱり事実は事実で、こうなったら子供が出来て、法律ではいついつからしか産めないよ。とかゲイ、レズ色んな愛し方があって、それを選ぶのは自由なんだ(別にLGBTを推奨してる訳ではない)と、これは個別授業するぐらいでもいいと思う。数学、国語よりもより生活に直結する問題やと思います。大人の意見をあまり押し付けないよう事実だけ伝えたいんじゃないかなあ〜

避妊しなければ、普通に誰でも妊娠できると思ってたので不妊についてや、高齢出産が増えているのでそのリスクも知っておいてほしいと思います。

小学生の低学年から教えたほうが良い。

簡単にネットで、知識を得られるのは恐ろしいです。

子供の頃はあまり知らないが、大人になれば、いろんな事件等も耳にします。いつ被害者になるかもしれないと思うと、どうすればいいのか、不安ばかりです。

性教育は早くてもよいとは思いますが、内容はだいたい忘れてしまうように思う。親から子に話さなくても知識を与えていくのがよいのではないかなと思う。

自分の性を大切にすること。命を大切にすること。避妊について。

家庭での性教育は難しい。

性教育の研修など先生が受けているのか?

私は、妊娠～出産までの詳しい経緯を自分の妊娠を機に自分で調べて知りました。性に関する時間は少ししかなく、また詳しく教えてくれなかったという印象が強く、もっと授業などでしっかり教えてほしかったと言うのが本音です。エイズや性病感染、子どもの無知がゆえ望まない妊娠などを避けるためにも、思春期からしっかりと学校での性教育の機会が大切だと思います。

親が教えるより先に、学校でまず教えてほしい。

性の多様性について、いわゆるオネエキャラなどメディアでおもしろおかしく発信されていることや、異性愛以外の性的指向が異質で「変」「おかしい」という風潮が、子どもたちにとって、それが全てで事実であるかのようなイメージを持たせているのではないかと不安に思う。行政をはじめ社会一般的に、性別について「男」と「女」のみの区分を求め、それにあてはまることを要求していること、それが「普通」であるかのようにまかり通っていることも、子どもたちにとって良いことなのか疑問を感じる。

日本だけの話ではなく、世界に目を向けて尊い命が失われていることを教えたい。赤ちゃんポストや未成年の中絶など、教師ではなく、医療関係者から厳しく教えて欲しい。

この問いで聞かれている「性教育」が問1-3の内容すべてに関するものでしたら、あまりにも幅が広すぎて答えられませんので、LGBTのことについてのみ答えさせていただきます。アメリカ留学の経験があります。アメリカ人の友人でバイセクシュアルの男性が、また日本の元同僚の男性がホモセクシュアルでした。そのアメリカ人の友人がエイズになったこともあり、セクシャルマイノリティやエイズについての知識や理解も一般の方よりはあります。やはり「知らない」から「恐れる」のだと思います。きちんと伝えて、何も特別なことはない、自分となんの違いもないふつうの人なのだとして理解させること、またその当事者にも正しい知識とアイデンティティを持たせることが何より大切だと痛感します。

うちは子供が女の子なので心配です。はやいうちから子供には異性とのお付き合いを学ばせてあげてほしい。

小学生の高学年で、性教育は不用意に避けることなく、きちっと教えるべきであると思います。

私は、LGBTではないが、それ以外の性的少数者で、そうではないかと中学の時にうっすらと気づき始め、はっきりわかったのが高3から大学1年にかけてだった。中学ぐらいからそのことについて調べ始めたが、当時はネットもないので情報がほとんどなく、まわりに相談してもダメで孤独なことがなにより辛かった。情報が無いということが、自分自身のことも理解できず、周りにも理解がないということが一番の問題だと思う。

現在は、SNS等により知識は家族の想像以上に進んでいると思いますが、現実の問題(性行為や避妊)を正確に受け止めている様には理解出来ません。小学校高学年から教育の中で教えて行く方が良いと思います。

性教育について、家庭で実践したことはない。経験がないので不安に思うことはない。

ゲームの影響が、心配です。

孫もいなくて最近の状況は分からないが 昔に比べ 体を動かす遊びが少ない。体が疲れるほど遊べば 余り性に関して考える暇も 無くなる。行政は健全な人生を送れる工夫をお願いしたい。

命に関して軽く考える人が増えてきたように思います

性教育については、男子にも小学校高学年から実施するべきである、と思う。

不用意な妊娠を防ぐため

家庭では、どうしてもタブーになりがちな話なので、逆にテレビ、新聞の性に関する情報の制限を緩く気軽に情報を得れるようになったら良いですね。

私の子育てのは20数年前です。今とは全く違う環境です。ネット社会で 過った情報も溢れていてそれを安易に得ることもあるだろうし また 被害者になることもある最近の子供達はたいへんだと思う。家族も含めて教育を受けないといけないかもしれません。

性に対しての相談する人がいない、また恥ずかしい 気持ちがある。

自由にかつ真剣に性について子供の頃から家庭内でも話題にしてほしい。

男の子の子どもがいるので、責任を持って行動していけるように、もう少し大きくなってから話をしていきたい。

性を表現する番組が多すぎる。

性に対する考え方や性そのものの多様性、病気など昔よりも問題が多様化する中で、まず自分や他のものの命の大切さ、これをしたらどうなるかなど当たり前のことを学ぶ場が必要。

性病についての理解が必要だと思う。

心から他人を愛し、愛される。そして、成長できると考えます。

多様性がありすぎるので、情報の発信源が間違っていると危険だと感じます。教える先生の偏った情報も同様に。

自分が子供のときは情報量も全くちがうし、子供達が性について間違った知識を得てしまう機会も増えたと思う。地域性もあると思うが、学校で段階を踏んで教育していただきたいと思う。

性に関するテーマをより一般的に話せる風潮を社会的に推進してほしい。

男女別に分けないでほしい。男女一緒に受けさせるようにしてほしい。

性感染やエイズ患者数などもっとテレビやラジオで 情報を流してほしい。

避妊の重要性についてもっと教えるべき、中絶する人や赤ちゃんをトイレに産んで放置する人が多すぎる。

子供が学校等で性教育を受けて疑問に思ったことを親に質問してきたときは恥ずかしがらずに一緒に勉強したい。

学校時代というのは、ある意味「性の対象が手近に手に入る時期」でもある。早い遅いに個人差はあるうけど、基本的なことは教えておくべきだな。

都市部と地方の認識の格差。メディアでの取り上げ方など何もかも出ずのはよくないと思う。

年齢的に回答すべきでなかったかも知れぬ。

私の場合は成人するまで、性欲の処理や禁欲のことばかりを気にしており、正しい性知識がほとんどなかった。矮小化しないような性教育が行われないと、自ら必要と感じていない子どもたちには届かず、普通の発達を阻害することになりかねない考える。

もしも子供ができた時、どんなことになってしまうのか、どれほどの責任があるのか、十分教えることが大切だと思います。生命にとって、子供をつかっていくことによって、命をつないでいくことの大きさを教えてあげることが重要だと思います。

親子でいつもなんでも話し合える習慣をつけておくことが大切だと思います。特に、性的なことは、お互いなんでも言えるように習慣づけることだと思います。親として責任ある日ごろの行動が非常に大切だと思います。

中学生になり、女生徒だけで性について、保健の先生からの講義だったが、既に生理も始まっており、なんか形式だけだった様に思います。私の場合、母から色々教えて貰いました。

命の大切さの第一歩を 念頭に話し合った。

私が子供の頃には 性教育と言ったちゃんとしたものはありませんでした。今の子供たちは心身共に成長が早く情報量も多いので 間違った捉え方や面白半分に興味をもったりする前に 早い段階からの教育は必要不可欠だと思います。

生命の誕生 世代交代

タブー感をなくし、自然に自由に話に出せるようにしたい。

性行為は命につながるのだと伝えてほしい。

性教育は必要です。性行為がネガティブに伝えられることは避けたいと思います。

子供は男子なので性教育あまり関心なかった。

命の大切さを教えてあげたい。墮胎などにならないように。

大切な事なので、きちんと話せて聞ける環境になれば良いと思います。

生きていく上で必ず必要になってくる知識である。今の子供達は簡単にそういった情報を得る事ができるが、間違った情報もあふれているので、正しい知識を専門家が教えてあげられる環境を提供してほしいと望みます。

何時の時代も我が国の性教育は適切でないと感じるし、昨今は特にその傾向が強い。性の多様性を含め。教育に取り入れなければならないことが多いのに、手つかずのまま放置しているという気がする。このままではいけない。

子どもの性教育は難しい問題です。親としての経験からやはり一次的には家庭での教育が一番大切と思います。男女の交際については最低限守ってほしいことを子どもと約束していました。

ネットがあるので自身である程度の知識は得られるがベースとしての性教育は学校で必要だと考えます。

性教育は恥ずかしいことだという雰囲気がありますが、家族の中で子供が生まれることは自然なことなので大々的に教育することで、性犯罪などが減るのではないのでしょうか。

感染症等についての知識

性教育は、体の成長に合わせて行う内容とこころの成長に合わせて行う内容があり、成長の度合いは各々違うので、子供の成長に合わせて家庭で行うほうが良いと思う。

性行為については大人になってから、学校卒業後、本当に将来一緒になるとお互い決めた人に対して行う事、自分の身体を大切にすることを伝えていきたい。

性行為がもたらす事後結果を詳細に教えておくべきだと思います。

年頃の子と会話をすることが多いのですが、性についての興味を持つ年齢は低いと思います。そのなかで、正しい知識を小学校などから継続してしっかりと教育してあげたほうが良いと本当に思います。避妊法、なぜ避妊が必要か、子育ての大変さと責任についてをしっかり教育し、望まない時期の妊娠・出産を防ぎ、虐待予防につなげていけるのではないかと思います。

子供に対して教える時期が正しいか不安に思う。

命の大切さ、不妊のことなど伝えたいです。

友人からの知識が多かった、その友人は誰から知識を得ているのか？

女性の体はすごくデリケートでもし子供をおろすと身体が傷つく事を女性は勿論、男性にわかって欲しい。

親子でも同性同士だと話やすいが、異性となると話にくくなります。学校でどれぐらいの性教育をしてくれているのか不安です。

今のところ考えていません。

命の大切さを、子供たちに伝えることを大人たちが十分にできているのか。家庭でまずしっかり親がする事。他人の痛みを共有することや、相手のことを思いやることから人間としての生活がスタートするという事。自分の欲望の赴くままというような事件が多すぎる。

自分たちの頃よりも子供の成長も早いし、性に関する情報が得やすい環境になっているので、幼い子供たちが変な事件等に巻き込まれないか心配である。

人に迷惑かけないか不安

親子でも話辛い話題ですが、ネットの普及でごく普通の子供でも性に関することを目にする事が多いと思うので、ぼかさずにはっきりと教育することが望まぬ妊娠や自分や相手を大切にす気持ちに繋がるかと思っています。

中学生になると、異性に対する恥ずかしさや、性に対する恥じらいがでてくるので、性教育をまとも素直に受け入れることができなかつた。そのためか中学生の頃に教えられたことよりも小学6年生の頃の性教育の方が記憶に残っている。

時代とともに子供たちも変化していくから、子供たちのニーズに合わせた性教育が必要だと思う。できるだけ早く性教育をするのが、今の時代には必要

非常に多くの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

現代はインターネットなどの普及により、子どもたちの周りは間違った情報も溢れています。今回の結果やご意見などを参考に、より身近で効果的な性教育が行えるよう取り組んでまいりたいと思います。」